世界少年野球大会延期もチャンスは無限

日の丸級ズラリ

九州ブロック"日本代表候補"レベルの中学3年生

ボーイズリーグは海外交流に力を入れており、毎年、日本代表チームを結成して国際大会などに参加。九州ブロックからも例年5人前後が各種国際大会の日本代表メンバーに選ばれている。しかし、新型コロナウイルスの世界的感染拡大の影響で今夏の世界少年野球大会（米・ハワイ）は来年に延期が決定。ほかの海外遠征試合の開催も予断を許さない状況にある。

もし例年並みの人数が日本代表に選ばれるのなら、誰が日の丸を背負って戦うのだろうか。昨秋の九州大会や春季全国大会、西日本選抜優勝大会（ともに中止）の出場チームの中から、代表候補に挙げられていたかもしれない中学3年生をピックアップした。

中尾（飯塚）

打撃ピカイチ

武内（久留米東）

182㌢大型右腕

目標に向かい努力変わらず

【右投手】久留米東のエース・武内涼太は130㌔台半ばの速球に加え、多彩な変化球を操る182㌢の大型右腕。清水耕作監督は「ボールの回転数を計ると2000回転を超えていて中学生にしてはかなり多い。ヒットも平均して1試合3本くらいしか打たれていない」と絶賛する。昨秋はスタミナや四球後の対応などに課題があったが、一冬を越えて心身ともレベルアップしているという。

福岡の冨野蒼太はけがもあって昨秋は調子を落としたが、長い腕から投げ下ろす速球を武器に1年秋から活躍。また打線でも中軸を担っている。福岡は下酔尾陸人の安定感も光る。ほかには那覇の全国大会出場権獲得に貢献した東恩納蒼も好投手の一人だ。

【左投手】京築の松田捷吾は体格がどっしりとしており、球威のある直球で三振を奪う投球スタイル。進林和也監督は「いい時は内角への直球がズバッと決まる。4番なので打撃もそこそこ」と投打の軸を担っている。

熊本中央の師井健聖のほか、佐賀玄海の片山海璃と八島夏月也も好左腕だ。

【捕手】八幡南の一ノ瀬颯は走攻守の三拍子そろった捕手で2年夏の全国大会でも活躍した。徳野晴美監督は「ベース1周タイムは15秒0前後で脚力はチームの中で断トツ。長打力もあるし、肩も強い」と能力を高く評価している。

糸島の松浦玄士や西松の木竹翔太郎は長打力が備わった捕手。沖縄県支部にも打てる捕手が数人いる。

【内野手】飯塚の三塁手・中尾湊は打撃の才能がピカイチ。柵越えを放つ長打力だけでなく、右中間や左中間を破る一打を平然と打ってくる。また難しい球にも対応でき、50㍍6秒台と足も速い。春山総星監督は「天性のものがある。OBの高浜祐仁（横浜高―日本ハム）よりも打撃センスは上」と高く評価する。

西松の遊撃手・白井賢太郎も打ち出したら止まらない。走攻守そろった1番打者としてチームを引っ張っている。熊本菊池北の遊撃手・杉野瑞樹は勝負強い打撃が持ち味だ。

【外野手】那覇の中堅手・喜屋武夢咲は外野への浅い安打でも二塁まで進めるスピードが持ち味。筑後の創部以来初優勝に貢献した松永優斗や西松の桑下龍牙、小倉の山下逸晃らも打撃の潜在能力が高い。全国大会予選で3戦して打率10割の八幡南・田中雄揮は伸びしろたっぷり。

■

日本代表として外国でプレーすることは貴重な経験になるし、全国から選抜された選手と一緒に過ごすことは自身のさらなるレベルアップにもつながる。また全ての試合が中止や延期と決まったわけではなく、遠征先の変更を模索している海外試合もあるが、例年とは違う状況になってしまったことは残念だ。

ただプロ入りした選手は中学時代に必ずしも日本代表などに選ばれていたわけではない。第一線で活躍している西武の源田壮亮やDeNAの宮崎敏郎はともに中学時代は九州を代表するような選手ではなかった。大切なのは目標に向かって努力を重ねていくこと。ここで名前を挙げられなかった選手たちにも飛躍のチャンスはあるし、大会が再開されたときには紙面をにぎわせてくれることだろう。（弓削　大輔）

松田（京築）

球威ある直球武器

喜屋武（那覇）

快足自慢の中堅手

一ノ瀬（八幡南）

走攻守そろった要

冨野（福岡）

長い腕から速球

白井（西松）

打ち出したら止まらない

九州ブロック中学生の部　主な大会出場チーム（19年9月以降）

	九州大会（19年11月）	春季全国大会（中止）	西日本選抜大会（中止）
北九州支部	八幡南 小倉	八幡南	小倉 八幡ひびきの
福岡県北支部	飯塚	京築	直方 鷹羽
福岡県南支部	筑後 糸島 九州古賀	糸島	福岡 九州古賀 久留米東 筑後
西九州支部	西松 佐賀玄海	西松	黄城
中九州支部	熊本菊池北 大分明野	熊本中央	別府
宮崎県支部	宮崎	宮崎くしま	県央宮崎
鹿児島県支部	薩摩南海	薩摩隼人	鹿児島
沖縄県支部	那覇 うるま東 浦添 読谷	那覇	

報知ボーイズリーグスペシャル
ボーイズリーグ欄掲載写真のご購入、本紙購読のお申し込みはWebサイト https://www.seibuhochi.com/boys/ または092・715・6289
▶QRコード